

藤間秋男の 100年企業創りレポート

●今月の経営テーマ “自分を成長させて業績向上に貢献しよう!”

自分を成長させることで次のようなメリットがあります。

- ①夢や可能性が広がります
- ②自信と勇気が身につきます
- ③周りの人をサポートできます
- ④お客様から頼られる人財になります
- ⑤会社の成長に貢献できます

株式会社コスモ教育出版『理念と経営』カレンダーより



- (1)『中小企業のための 成り立ち事業承継』 読者数は
継ぐ者35、関わる者15の心得88をPHP研究所より出版しました。
今日は「読者の心得38」の中で重要な心得をまとめます
- ①明日、社長が亡くなった。会社は残りますか?
 - ②事業承継を止めなくても、誰かにも口伝えで伝えます。ECが
遠慮して言わないからです。けど、止めると後継者は出てきません。
 - ③事業承継の最大のリスクは、後継者を「やめた」と言わぬこと。
 - ④社長は、社内社外に「読者時期を宣言し、自死を告げる」こと。
 - ⑤社長と読者宣言を5年か6年、5年か7年か、5年か8年か。
 - ⑥後継者は、④経営理念の確立と浸透させる人 ⑦人間力、人格の相手と
選ぶべき。能力がある人も人格にある人は選ぶべきこと。
 - ⑧後継者には、外で3年〜5年経験、中で1年ずつ一通り
経験させること。特に、経理部を必ず経験させること。
 - ⑨株や財産のトラブルがないように、必ず遺言を書くこと。
 - ⑩妻をばいめとした一族や自分と苦勞を共にしてくれたい社員の
処遇も考えよう。
 - ⑪週々一回、後継者と2人か3人で話す機会を設けること。
 - ⑫会長派、社長派という言葉が聞えたら、社員を課め
自分の行儀を見直す。
 - ⑬会長になった後は、後継社長の花嫁団長となり、全力で
バックアップする。社長の座に手は残さず、
- 以上、まとめました。私は実行しています。又、実行して
あります。次号の「継ぐ者の心得35」まとめます
(100年企業を築くための 3回の事業承継が必要になる)

- (2)あの『週刊文春』(2017.11.16号)に「国税 OBが教える
絶対 損しない『相続税』完全ガイド」が載りました。
さあが、文春砲、見出しがどぎついですが、TOMAも
200名中 40名くらいの人間が、相続税事業に継ぎを
専門にし、国税局のOBも10名近くいる中、3名の方が、
相続税の専門です。最近、ロカセイル、シアトル、ニニカ
ポール、ハイクなど、国際相続セミナーをさせていた
かっています。その中で我々が2017年常識テストがポイント
①モメるの「実名義の口座」。生活費の一部の貯蓄は「実名義
夫の相続財産」とみなされる可能性あり。
- ②一次相続、二次相続より早く分けてしまえば相続税
が少くなることである。
- ③専門の税理士を任せ、税理士の数は75,000人、相続税の
申告件数は2015年100,000件。平均すると1人1.3件と少ない。
(TOMAは年間200件以上の申告を相談を受けています。相続
専門の国税局OBもいます。弁理士、司法書士もいます)
- ④相続税の申告の20%は調査が入り、その80%が修正
申告させられています。(TOMAでは、申告には14%の書面添付と
して、税務署に対して TOMA税理士法人が責任をもち、
チェックしましたよという書面を出すので、調査率が低く、まず
税務署からの問い合わせは TOMAにきます。修正率も低いのです。)
- ⑤税務調査では、まず、本人の過去の情報(申告状況、法人
情報、不動産の売買、海外の送金記録など)を蓄積した
KSKシステム(国税総合管理システム)を活用する。
(TOMAでは、お客様へのヒアリング、過去の申告状況、預金
通帳などについて、いろいろと確認させている場合があります。)
- ⑥毎年コツコツ貯蓄した預金も贈与契約がなかったり
印鑑が相続人毎に通帳で同じ、などの不備が
名義預金とされてしまう。(TOMAで名義預金とされる
方法を、ご指導いたします。)
- ⑦故人はどのくらい入院していたかの質問。長々と何かあるかと
疑ってしまう。(TOMAは30年以上前から相続専門チームを
構えていました。それが強みで成長してきました。)

(3) 「人間には、なぜ成功する人として人があるのか？」
ある弟子が師の道元禪師に聞いた (致知 2007年6月号)

① 成功する人は努力する。成功しない人は努力しない。その差だ。
「努力する人として人があるのか？」

② 努力する人間には志がある。しない人間には志がない。その差だ。
「志がある人として人があるのか？」

③ 志のある人は、人間は必ず死ぬということを知っている。
志のない人は、人間が必ず死ぬということを知る意味を
知らない。その差だ。
(要するに人生は一度きり。日々努力して志を捧げ
生きていくことが成功する人であるという。)

(4) 私の考える人生の方程式 (柳登和夫『考え方』大和書房刊)

人生・仕事の結果 = 考え方 × 意欲 × 能力

① 幸せな人生に導いてくれるたった一つの鍵は「考え方」
ゆのぶる「考え方」を度々変えることにより自分の人生を素晴らしい
ものに作りあげることによって幸せな人生を送ることが出来ます。

② 能力 0点 ~ 100点 多くは生まれつき備わっているもの。

③ 意欲 0点 ~ 100点 努力と言い換えてもいい。能力とは
異なり、自分の意思で決めることが出来ます。頭がいいから
努力しない人よりは、自分な能力があることを自覚し、誰よりも
情熱を持って努力した人の方がはるかに素晴らしい結果を
残すことには必ずしも勝つたのである。(今日から変えてください。)

④ 考え方 - 100点 ~ 100点 思想、哲学、理念、信念、人生観、
人間性、人間性とは生きる姿勢といってもいいかもしれません。
この「考え方」こそが最も大事な要素であり、方程式の結果を
大きく左右することになります。変えるには考え方を変え
る。悪い考え方(マイナス100点)から良い考え方(プラス100点)へ
大きく振れ幅があるのです。(今日から変えてください。)

⑤ プラスの考え方(正義、公正、公平、努力、謙虚、正直
博愛などの言葉が表現される普遍的なものがいい)
常に前向きに肯定的、建設的、協調性、足るを知る
感謝の心を持つ、善い、満ち、思いやりがあり、優しい。

⑥ プラスの考え方は後向きに否定的、非協力的、暗く、意
地が悪く傲慢で怠ける、不平不満ばかり、自分の
非を棚にあげて人を恨み、人を妬む。

⑦ ぽいぽいするようになる人になり。

⑧ もっとも生まれながらに立派な人格を持った人は
います。人間は一生を生き抜くために、自分の意志と努力
で高邁な「考え方」を持った人格を身につけていきます。
(TOMIAの理念「明るく、楽しく、元気な、前向き」も、幸々
な人生を導いてくれる考え方だと思います。)

(5) 『継続』 (7-23 実践経営 飯場保人 ^{X-112がシン} ^{の12月分月間実践経営})
成功している人は継続性があります。負けばあきらめる人は
継続性がありません。たとえ、実践し、結果が出るまで
時間がかかっても、とすぐ諦めてしまえば結果を出さな
い。同じことを繰り返していることこそ有意義です。

(TOMIA 明るく楽しく元気な前向き通信 235号 (20年間)
社長の毎日送っている明るく楽しく元気な前向き通信 2947号 (15年間)
続けることが成功の秘訣です。正しい考え方を持つ)

(6) 「理念と経営」の受入強会 (理念と経営 ^{2017年9月号}) 700回に及ぶ(成功の秘訣)

① 私が言っている「高貴の常道」とは「本業」に徹すること。他ならぬ。

② 高貴は「人に報いよう」とする心持で、初めから進め。

③ もろくようばかり考え、追いかけること、金もお客様も逃げてしまふ。

④ 最高のサービスは社長一人ひとりの幸せから生まれる。① ~ ④ 清水良夫 ^{の12月分月間実践経営}

⑤ 人の役に立つ、人から信頼が返ってくる。⑤ 三澤 ^{美容室社長}

⑥ 社長は④ 喜ぶふさわしい心を持ってほしい。⑥ 時間とお金の使い方
は、華美に流さないか。⑦ 友人が築いた過去の遺産を安易に
まぐさとしていないか。⑧ 働く人に対して感謝の気持ちを持つ。⑨ 大村 ^{オムニバス}
⑩ 田嶋 ^{徳太郎}



いのちとは何かを問い続けた105年の生涯 日野原重明先生が遺した言葉 その2
(「理念と経営」2017年9月号 コスモ教育出版)より

「どんな人生でも最期には独りぼっちで死という大海に漕ぎ出さなければなりません。人から愛されている、赦されている自分と知っていなければ、漕ぐのに力が入りませんでしょう」

「生きがいのある人生を送るとは、小さな達成感を積み重ねていくことではないか。それは決して特別なことでなく、誰かから『ありがとう』と言われただけでも心にぽっと温かな思いが湧いてくる。そうした気持ちこそが『生きがい』にもつながるのだと思う」

「人はいくつになっても生き方を変えられる」